

ゆうかり放送委員会提供

# ゆうかりに乾杯

第23回放送の概要 (2010年9月25日放送)

## パーソナリティ

さくら (安本久美子)  
タロウ (佃 由晃)  
なかちゃん (中嶋邦弘)

## コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



## ミキサー

門ちゃん (門田成延)  
一ノ瀬 悟

## 相談役

わだかん (和田幹司)

## 会計

小山俊則

(CM) JR兵庫駅前の「神戸ルミナスホテル」, 抜群のロケーション、最新の設備と最高のおもてなし、ビジネス、観光の快適な拠点として皆様のお越しをお待ちしております。今日は「神戸ルミナスホテル」様 (TEL:078-511-7700) のご協力を頂きました。

## 1. オープニング

先月紹介した中嶋邦弘さんの本「遣唐大使」が日本図書館協会選定図書に9月24日選ばれました。

## 2. ゲストコーナー：兵庫高校総合科学類型7班の生徒さんと矢田部先生

本日のゲストは兵庫高校1年学年主任の矢田部先生と1年7組7班の山川さん(ギターアンサンブル部)、恵さん(吹奏楽部)、嬉野さん(サッカー部マネージャ)、不動さん(ダンス部)、三木さん(ギターアンサンブル部)の5名の生徒さんです。

総合科学類型クラス(40名)は8班に分かれているが班分けの仕方は、男子と女子が誕生日順に並び、男子が少ないので前から順に男子2人、女子3人と区切って班分けをしたものである。山川さんの自己PRとしては、趣味は音楽大好きでギターやベースを弾くこと、小中学校はスポーツばかりしていたが今は音楽ばかりの生活である。

7班のテーマは「私たちが丸五市場のために出来ること」であるが、このテーマに取り組んだきっかけは、丸五市場代表の西村さんに話を聞いた後、5人で丸五市場を盛り上げるためにどうすべきを考えたとき、店を出したりライブをする案が出たが、作曲をするメンバーがいたのでライブをしようということになった。ライブをすることにより高校生や小中学生も丸五に来るようになれば、飲み会のおじさんだけでなく若い活気のある市場になると思い企画した。丸五の唄の企画は皆でしたが作詞作曲はすべて三木さんが行った。丸五市場に最初に行ったのは火曜日の定休日で店がすべて閉まっていたが、後日西村さんの話を聞きに行ったときは思っていた以上に明るく人の温かみを感じていいなと思った。丸五市場の場所は新長田駅前を真っ直ぐ南下し国道2号線を越え、六間道商店街の少し北側で本町筋商店街に接している。

ここで**まるごの唄**を紹介：

人と人の触れ合いや ここにしかない温かさ  
皆みんなみんな 優しくなれるよ  
苦しい時も 悲しい時も  
来てみて！何かが変わるから

**まるGO! GO!**  
**笑顔で迎えてくれるから**  
**笑顔になれるよ Come On Lef s Go!**  
**迷った時も 悩んだ時も**  
**来てみて! 何かが変わるから**  
**まるGO! GO!**  
**新しい思いめぐらせる**  
**ヒントをくれるから Come On Lef s Go!**  
**ここには安心感がある**  
**すぐにだって親しくなれる**  
**時間が基準? 来るかが基準!**  
**まるGO! GO!**  
**楽しくいたいと願うから**  
**また来よう**  
**まるGO! GO!**  
**心と心の繋がりが**  
**人を惹きつける Come On Lef s Go!**

後半は女性徒の三木さん、不動さん、嬉野さんに話を伺います。

今までに丸五のような市場に行った経験があるかについては、小学校の郊外学習で大きな商店街には行ったことがあるが家の近くに市場はなく行ったことはない。丸五に行った印象としてはお店の人もやさしく温かい人が多く、月に1回と授業のフィールドワークで2~3回出かけた。食べ物としては焼き鳥の皮のおいしい店、ぼっかけ丼、ミャンマーカレー、シシカバブなどがあり、お店の人も優しく行くとたびに声をかけてくれたのでまた行きたいと思った。西村さんからは丸五の歴史や過去において最も多かった店の数などの話を聞き、生徒達の考えを伝えたところとても喜んでくれた。8月の丸五ナイト屋台で丸五の唄を始めて披露したところとても喜んでくれ、CDにしたらどうかと言われた。次のライブでも歌ってほしいとか多くの人に声をかけてもらってとてもうれしかった。

歌詞を読むと、「ここに来ると優しくなれる、何かが変わる、笑顔になれる、何か見つかる、すぐに親しくなれる」など生徒さんの気持ちが一杯詰まっているように思うが、歌詞を作られた三木さんの苦労話はないとのこと。歌詞がスムーズに生まれたのは、最初に市場に行った時は定休日でシャッターのみであったため、廃れているのを皆で頑張ってくれようという前にもう終わってしまっていると思った。しかし店が開いている時に行くと店の人が良くしてくれて最初の印象と全く違った。8月のライブを皆さんから喜んでもらったので来月10月15日(金)のライブでリベンジする予定である。8月ライブは音響設備の関係でボーカルがうまく出なかった。まるごの唄の2曲目、3曲目を期待したい。

若い人に丸五に来てもらうためのアイデアとしては、7班の活動は1学期で終わっているが、班としては今後も丸五ナイトに参加したいと思っている。ライブ以外としては当初抽選も考えていたが出来なかったものがあり、他にも色々活性化のためにやっていきたい。同級生達に毎月ナイト屋台の日には来てもらうよう声をかけている。

放送スタッフからの応援メッセージとして、アコちゃんからは自己満足にならないよう頑張ってもらいたい、ナカちゃんからは総合科学類型は面白いチームである。将来仕事をするようになるとマニュアル通りでよいというものは殆どない。問題の解決、新しいことの組み立てなどに直面するがその時に、今社会に向けて取り組んでいることが役立ってくる。そのため人との交わりの機会を増やす、自分の知識・能力を蓄えること、英会話は可能性を広げる。さくらさんからは今肌で感じている長田の町、市場の人の温かさを素晴らしい未来の基礎にし、総合科学類型で学んだ3年間で将来良かったと言えるようにしてほしい。

矢田部先生から、この授業を始めるとき兵庫高校の生徒は北区のニュータウン出身が多く、長田区

を調べることに関し気持ちが乗らないのではとの不安があったが、活動を始めると予想以上に興味、関心を示し、下町の良さ、人の温かさに心を打たれたところがあるようで、予想以上の成果があったと考えている。勉強に直接役には役立たないが10年後、20年後に市場大好きなおじさん、おばさんになってもらいたい。頑張っている地域の人々に協力できる、人間として深みのある勉強をさせてもらったので今後に活かしてもらいたいと思っている。

タロウからは皆さんがテーマを見つけ、どのような問題があるかを探り、細かく調べ解決策を探し、実行していくこのやり方は社会人になってからはそのようなことばかりなので、そのような勉強を今始めたことになるので自信をもって継続して行ってください。

### 3. 来月のゲスト

兵庫高校OBの合唱団である「ゆうかりプタス」で活躍しておられる本田さんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：[yuukarinikanpai@gmail.com](mailto:yuukarinikanpai@gmail.com)